

米軍オスプレイ一部飛行停止

クラッシュ不具合 部品交換で

米軍専門紙「ティーフェンス・ニュース」(電子版)は2月、米海兵隊と米海軍との間で、HCOE(高官会議)が開催され、HCOEに参加する部品交換が完了するまで一部の機体を飛行停止とするとしていました。

昨年8月、米空軍のHCOEをめぐっては、米海兵隊総司令部が4日付で声明を発表。米国防総省の提案を受け入れ、HCOEに関連する部品交換が完了するまで一部の機体を飛行停止するとしています。日本の防衛省にもこの件で連絡がありました。

かの原因で潰れる「ハードクラッシュ・エンゲージメント」(HCE)が発見。今回の措置も、HCEへの対応の一環であるクラッシュが何の原因で発生するかまだ不明です。

県民の不安 扱しよくなれず

沖縄県の吉城千一知事は6日、県庁での会見で、オスプレイの飛行停止について「これまで連日書の精神に基づき配備に反対を表明してきた」と擁護しました。昨年にも米空軍のCV-22オスプレイが安全上の問題で一時飛行停止したことをふれ、「県民の不安は一向に払しょくされな

れまでは飛行を継続しているの訓練や作戦を行つてあります。

日本国内には、普天間基地(沖縄県宜野湾市)に米海兵隊のMV-22が24機、横田基地(東京都福生市)に米空軍のCV-22が6機、配備されています。

HCEをめぐっては、米海兵隊総司令部が4日付で声明を発表。米国防総省の提案を受け入れ、HCOEに

ただ、「運用上の理由」から、飛行停止される機数や期間は明らかにしていません。ま

た、部品交換は順次行

われるため、対象とな

った機種以外は通常通

由」から、飛行停止される機数や期間は明らかにしていません。また、部品交換は順次行われるため、対象となる機種以外は通常通りの訓練や作戦を行つてあります。

日本国内には、普天間基地(沖縄県宜野湾市)に米海兵隊のMV-22が24機、横田基地(東京都福生市)に米空軍のCV-22が6機、配備されています。

ただ、「運用上の理由」から、飛行停止される機数や期間は明らかにしていません。また、部品交換は順次行われるため、対象となる機種以外は通常通りの訓練や作戦を行つてあります。

日本国内には、普天間基地(沖縄県宜野湾市)に米海兵隊のMV-22が24機、横田基地(東京都福生市)に米空軍のCV-22が6機、配備されています。

ただ、「運用上の理由」から、飛行停止される機数や期間は明らかにしていません。また、部品交換は順次行